# 【旅客の皆様へ】モバイルバッテリーの持込みについて

国土交通省

別紙１

モバイルバッテリーに使用されているリチウムイオン電池は、衝撃や損傷等により発煙・発火に至るおそれがあります。機内におけるモバイルバッテリーの発煙・発火への対応強化、客室安全の向上を図るため、以下の対応をお願いします。

【出典】NITE

## 1. 預入（受託）手荷物に入れないで！

預入（受託）手荷物に入れることは禁止されています。
必ず機内に持ち込んでください。

## 2. ワット時定格量160Whまで！

ワット時定格量が160Whを超えるものは持ち込み禁止されています。

例） Ah） ワット時定格量（Wh）＝定格容量（Ah）×定格電圧（V）
mAh） ワット時定格量（Wh）＝定格容量（mAh）×定格電圧（V）÷1,000

PSE
●●株式会社
定格容量：27,000mAh
定格電圧：3.7V （99.9Wh）

## 3. ショートしないように個々に保護！

端子に絶縁テープを貼る、ケースや収納袋に入れる、複数のバッテリーや金属品と同じ袋に入れないなど、ショートを防ぐこと。

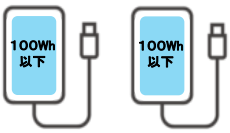
## 4. 収納棚に収納しないで！

座席上の収納棚に収納せず、座席ポケットなどお手元に保管してください。

*NEW！ 令和8年4月24日から*

## 5. モバイルバッテリーは2個まで！

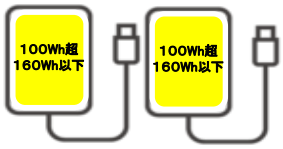
① 100Wh以下の
モバイルバッテリー2個持つ場合




100Wh以下の
予備の電池
個数制限なし

100Wh超～160Wh以下の
予備の電池　2個まで

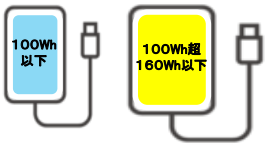
② 100Wh超～160Wh以下の
モバイルバッテリー2個持つ場合




100Wh以下の
予備の電池
個数制限なし

100Wh超～160Wh以下の
予備の電池　持込み不可

③ 100Wh以下と100Wh超～160Wh以下の
モバイルバッテリー各1個持つ場合




100Wh以下の
予備の電池
個数制限なし

100Wh超～160Wh以下の
予備の電池　1個まで

## 6. 機内で充電しないで！

機内電源などからモバイルバッテリーへの充電は禁止されています。

## 7. 機内で使用（電子機器への充電）しないで！

モバイルバッテリーから他の電子機器への充電をしないでください。
電子機器の充電は、機内備え付けの電源からお願いします。

【モバイルバッテリー】
・リチウムイオン電池を内蔵するもの
・他の電子機器を充電する目的のもの

【予備の電池（リチウムイオン電池）】
・デジタルカメラ等の電子機器の予備バッテリー
・電子機器から取り外したもの

※ 1-3、5・6に違反した場合、航空法により罰則が科される可能性があります。
※ 持込みできなかったモバイルバッテリーなどは、宅配便などによる貨物としても航空輸送できない場合があります。
宅配便などの運送事業者へ確実に申告のうえ、運送事業者の指示に従ってください。
※ 航空会社によって、より厳しいルールを設けている場合がありますので、各航空会社の指示に従ってください。

JCAB
JAPAN CIVIL AVIATION BUREAU